

整備士育成へ一層努力

中日本自動車
短大運営 神野学園、50周年式典

学校法人神野学園（名古屋市中村区）と同法人が運営する中日本自動車短大（加茂郡坂祝町）の創立50周年記念式典が5日、同市中村区の名古屋マリOTTアソシアホテルであり、関係者約370人が出席して節目を祝った。

神野学園は1967年に



創立50周年記念式典で
いさつする山田弘幸理事
長＝5日、名古屋市中村
区、名古屋マリOTTア
ソシアホテル

設立され、同短大を開学した。同短大は東京ドーム2個分の敷地面積があり、日本最大級の自動車整備士養成施設となっている。関市で中日本航空専門学校と岐阜医療科学大も運営している。

式典には同短大のOBや、就職先の企業関係者

らが出席。神野学園理事長の山田弘幸・同短大大学長は「本式典を新たなスタートと位置付け、学生を大切にし教育・指導や研究に一層努力する。優秀な技術者、人材を育成し、社会や世界に貢献していきたい」とあいさつした。

来賓の南山宗之坂祝町長は「今後もより良い技術者を育て、車社会や人類を支えて」と祝辞を述べた。

式典では、3色で三つの学びやを表した同学園の新ロゴマークが披露された。国立情報学研究所の山田誠二教授による記念講演の後、祝賀会があり、大村秀章愛知県知事も駆け付けた。（小森直人）